

## 金による分散投資

最近、資産の一部として金の購入を勧める宣伝を目にします。はたして、金による分散投資は有効なのでしょうか。

金の価格は海外金市場の価格を参照しており、それはドル表示です。したがって、国内の金価格は円／ドルの為替レートに影響を受けます。

次の表は、1975年から5年おきにとったロンドン金市場の価格と円／ドルの為替レートです。

|             | ロンドン金市場価格<br>(ドル／オンス) | 円／ドルレート | 円換算価格<br>(円／g) |
|-------------|-----------------------|---------|----------------|
| 1975        | 160.47                | 296.8   | 1,531          |
| 1980        | 603.50                | 226.7   | 4,399          |
| 1985        | 320.44                | 238.5   | 2,456          |
| 1990        | 382.44                | 144.8   | 1,781          |
| 1995        | 383.56                | 94.1    | 1,161          |
| 2000        | 277.05                | 107.8   | 960            |
| 2004年10月20日 | 419.35                | 108.6   | 1,464          |

注 (1) 2004年10月20日以外の数値は年平均です。

(2) 1オンス=31.1 g

ロンドン金市場価格で見ると、現在の価格はかなり高い水準にあり上の表では2番目です。一方、円換算価格で見ると現在価格の水準は5番目となり、為替レートの影響が表れています。つまり、金の購入には、利息のつかないドル預金をするような一面があります。

このように、過去30年ほどの期間で見ると、金の保有による資産価値の確保はできなかったと言えます。ただし、円高のピークだった1995年以降に限ると、金の資産価値はほぼ保たれています。